製造業のビジネスチャンスが見える モノづくり最新情報サイト じゃぱんお宝にゅ~す

Upanasico~ f

モノづくり現場の未来を見つめる 製造業応援サイト じゃぱんお宝WEB新聞 最新情報満載!好評配信中!

https://japan.otakaranews.com



アル・エンビプロHD、VOLTAの3 ン電池のリサイクル技術 フスからのレアメタル精製技術確

リチウムイオン電池 リサイクルで再利用

三菱マテリアル株式会社(東京都千 代田区、社長:小野 直樹氏)、株式会 社エンビプロ・ホールディングス(静 岡県富士宮市、社長:

佐野 富和氏)、株式会社VOLTA(静岡 県富士市、社長:今井健太氏)は共同 で、事業化を前提とした、リチウムイ オン電池(LIB)のリサイクル工程で製 造されるブラックマス(※1)に含まれ るリチウム、コバルト、ニッケルを回 収・精製する湿式製錬技術の開発に着 手した。(※1:LIBを放電・乾燥・破 砕・選別したリチウム、コバルト、ニッ ケルの濃縮滓)。

希少な資源を再利用

レアメタルを含有するLIBは、スマー トフォンなどのモバイル機器や家電製 品に広く利用されている。また、ハイ ブリッドを含む自動車のEV化により、 これからもLIBの需要は拡大が見込ま れている。

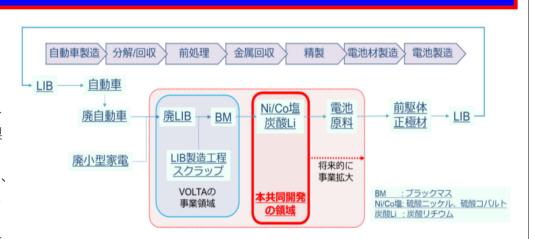
一方で、主要なLIB材料であるリチ ウム、コバルト、ニッケルなどのレア メタルは、近い将来の供給不足が懸念 されており、地下資源の開発に加え、 材料のリサイクルや代替材料の開発な どの対策が、産業界全体における成長 戦略の重要な課題となっている。

今回、三菱マテリアルとエンビプロ

<会社情	報>		
三菱マラ	テリアル株式会	社	
(1)	所在地	東京都千代田区丸の内三丁目2番3号	
(2)	代表者	執行役社長 小野 直樹	
(3)	事業内容	銅加工事業、電子材料事業、加工事業、金属事業、	
		環境・エネルギー事業	
(4)	資本金	1, 194 億 5, 700 万円	
(5)	設立	1950 年	
(6)	URL	https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/	

株式会社	エンビプロ・	ホールディングス
(1)	所在地	静岡県富士宮市田中町 87 番地の 1
(2)	代表者	代表取締役社長 佐野 富和
(3)	事業内容	傘下事業会社(総合リサイクル、トレーディング、障がい福祉、
		環境コンサルティング他) の経営管理、並びにそれに付帯する業務
(4)	資本金	15 億 2, 483 万 656 円
(5)	設立	2010年
(6)	URL	https://www.envipro.jp/

株式会社	± VOLTA		
(1)	所在地	静岡県富士市大野 55-1	
(2)	代表者	代表取締役社長 今井 健太	
(3)	事業内容	リチウムイオン電池やニッケル水素電池等の	
		充電式電池のリサイクル事業	
(4)	資本金	4 億円	
(5)	設立	2018 年	
(6)	株主	株式会社エンビプロ・ホールディングス 100%	
(7)	URL	https://www.env-volta.jp/	



LIBリサイクルフローと共同開発領域

HD、VOLTAの共同開発では、相互に 培ってきたノウハウと湿式製錬技術を 融合することで開発を加速し、ブラッ クマスを原料としたレアメタルの回収・ 精製の事業化に向けた技術開発に取り 組んでいく。これらレアメタルを高効 率で回収するリサイクル技術の確立に より、LIBの処理からリチウムイオン 電池材料の安定供給まで一貫したリサ イクルシステムの構築に貢献する。

今回のリサイクル技術は、三菱マテ リアル、エンビプロHD、VOLTAの3 社で共同開発する。LIBのリサイクル 工程で製造されるブラックマスからの リチウム、コバルト、ニッケルの高効 率回収プロセスの確立を目指す。

代表者コメント ニ夌マアリアル

「当社はこれまでも、銅製錬所におけ じめとして、各事業分野においてリサ 組みです。 イクルを積極的に推進してまいりまし 当社はリサイクル業界で70年余に渡り た。このたびエンビプロ・ホールディ 生業を営んできました。私はこの際、 ングス社とともに、湿式製錬によるリ チウムイオン電池のブラックマスから のレアメタル回収という新たなリサイ クルの事業化に向けて共同開発するこす」と述べた。 ととなりました。

当社がこれまで培ってきた製錬技術 を最大限に活かして本プロジェクトを 成功させ、早期の事業化を目指すとと もに、リチウム

イオン電池材料の安定供給とそのリサ イクルシステムの構築に貢献していき ます」と述べた。

代表者コメント エンビプロHD

エンビプロ・ホールディングスの佐 野 富和社長は、「リチウムイオン電 池のリサイクル分野は中国や韓国が先 行していち早く事業化し、年々その規 模を拡大しつつあります。一方、日本 ではLIBリサイクルの一次加工にあた るブラックマス製造を担う会社は複数 あるものの、次の工桯である製錬分野 で事業化している会社はまだありませ 三菱マテリアルの髙柳 喜弘常務は、ん。三菱マテリアル社との今回の共同 開発契約は、LIB to LIB のクローズド るシュレッダーダストやE-Scrapの処 ループ実現を目的にしており、資源安 理、家電リサイクル工場への出資をは 全保障の観点からも国益にかなう取り

> これまで培ってきたリサイクル技術や ノウハウを惜しみなく提供して本プロ ジェクトを必ずや成功裡に導く覚悟で

(※資料提供:三菱マテリアル)